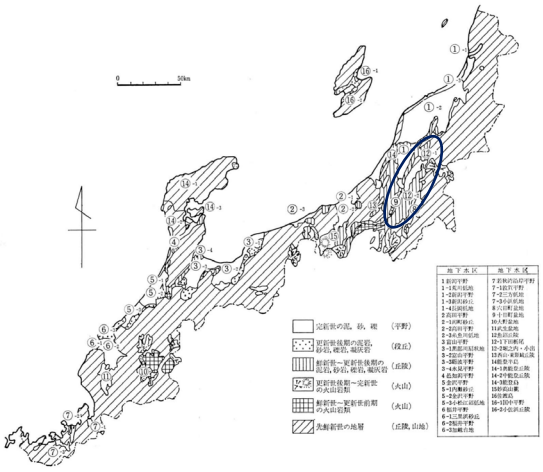
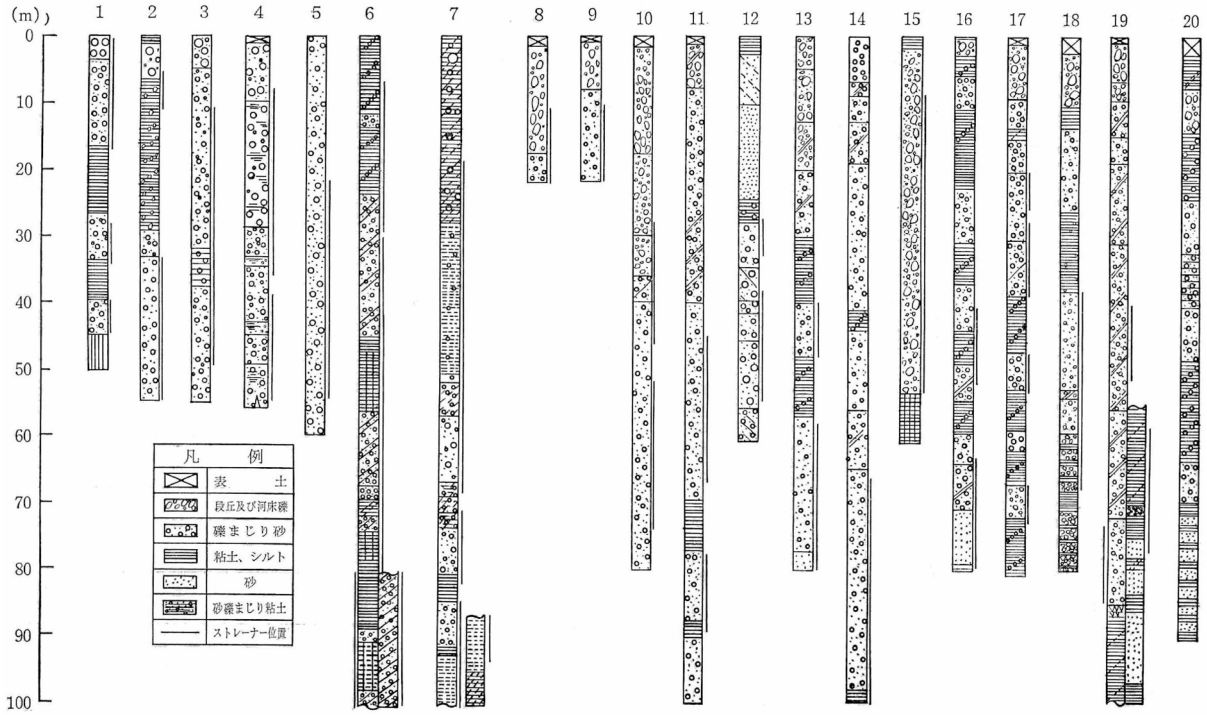
12.魚沼丘陵



地形・地質

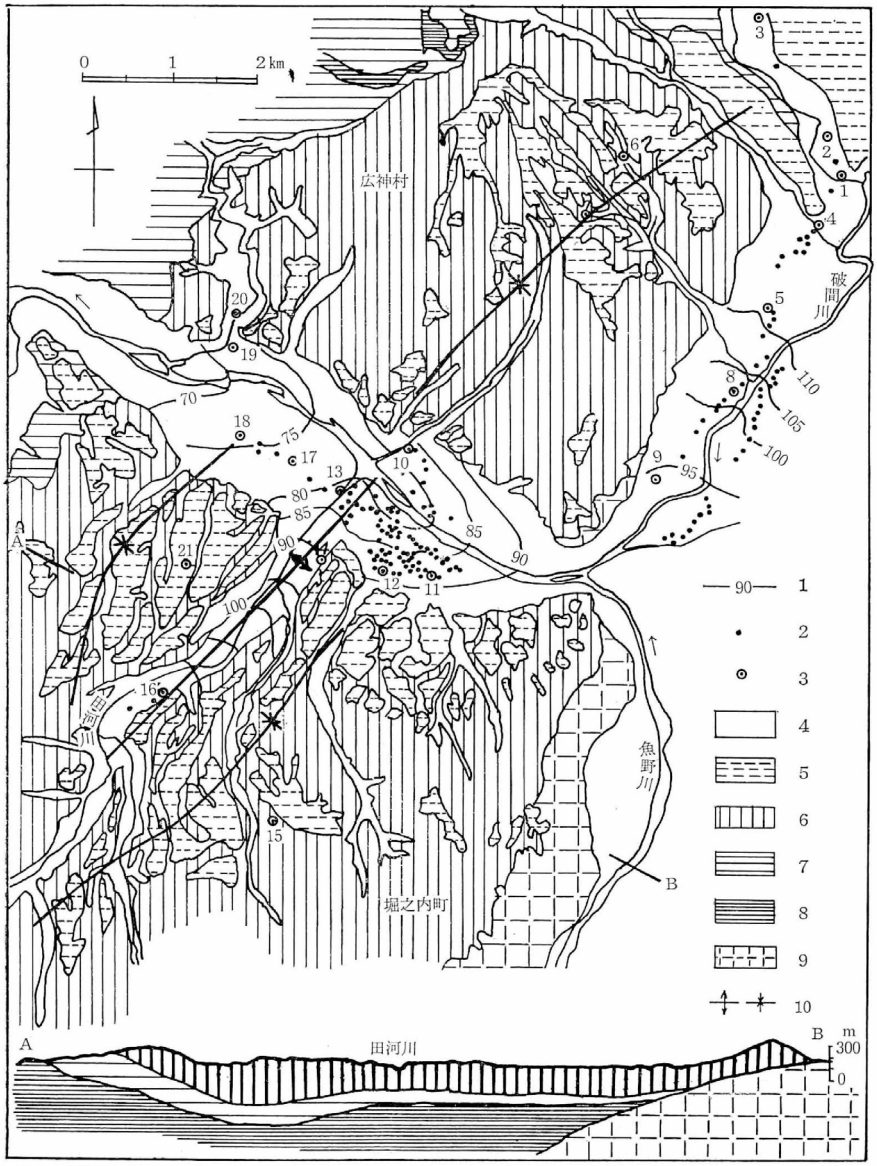
新潟県のほぼ中南部に位置する魚沼丘陵は，信濃川の支流魚野川と破間川を東の境とし，信濃川を西端とする地域をいい，大半が丘陵と台地からなっています。地質は魚沼層群で，大部分が砂・礫・粘土からなります。



北魚沼地域の地質柱状図

地下水

北魚沼地域の井戸は，破間川や魚野川横谷部の沖積面に多く分布し，沖積や洪積砂礫層を合わせて帯水層としています。魚沼層群の互層中から汲み上げている井戸は，被圧地下水で自噴しているものが多いです。使用用途は消雪用の割合が多いです。



1:地下水位等高線(標高m)、2:深井戸、3:井戸柱状図位置、4:沖積層、5:洪積段丘堆積物、6:魚沼層群（砂、シルト、礫互層)、7:和南津層(砂岩)、8:灰爪層(シルト岩)、9:西山層(安山岩質火砕岩、溶岩等)、10:褶曲軸

北魚沼地域の水文地質図

出典　日本の地下水（農業用地下水研究グループ,1986）（一部加筆）

「日本の地下水」では全国の地下水盆の概要が紹介されています。各地下水盆の概要を紹介している頁と関連する論文等を、下記の Web ページで閲覧できます。

https://jagh.jp/activities/groundwater_database/（日本地下水学会）